

E. C. Barrett

Climatology from Satellites Methuen & Co., Ltd., London, 1974. 153×232 mm, 418百

1974年に hardbound が出版され, 1979年にpaperback のものが出版された. 価格は £8.50 (邦価では時期と取 扱店によって違うが, 1981年2月で5100円). Barrett は イギリスの Bristor 大学で地理学の教鞭をとり, アメリカの NESS に滞在し, 衛星データを利用して rainfall estimation や forecasting を研究していた人である.

衛星データを利用しての気象学・気候学の研究は、1960年4月1日に打ち上げられた軌道気象衛星 Tiros-I (アメリカ)以来のデータ取得からはじめられた.従って衛星データを利用した研究は、現在まで精々25年間である. そのうち、主として軌道衛星による1960年代および70年代前初の研究を集大成したものである

び70年	代頭初の研究を集大成したものである.					
内容の目次は						
PART	I Introduction					
	1 The nature and scope of climatology					
	from satellites 3					
PART	II The satellites					
	2 American meteorological satellite systems 19					
PART						
	analyses					
	3 Patterns of atmospheric energy 61					
	4 Distributions of atmospheric moisture 75					
	5 Wind flows and air circulations 120					
PART	IV Satellite data analyses in global clima-					
	tology					
	6 Global patterns of atmospheric energy 147					
	7 Global patterns of atmospheric moisture 174					
	8 Global patterns of atmospheric circu-					
	lation 195					
PART	V Satellite data analyses in regional clima-					
	tology					
	9 Linear disturbances of tropical weather 221					
	10 Non-linear disturbances of tropical					
	weather 260					
	11 The south Asian monsoon 292					
	12 Temperate mid-latitudes 314					
	13 The polar regions 344					
PART	VI Satellite data and climatic classification					

14	The	classification	of	climates	
D ofomous and					

374

Indexes

405

359

長く継続されている気象観測も測器の変遷を経ているが、衛星の観測センサーも改良ばかりでなく、観測システムの改良もされて経過している。これらの変遷を知っておくことは、衛星データを利用した論文の中にある各種数値を評価する上においても必要であろう。またリモートセンシング技法の基本と各種のセンサーの特性とを簡潔に PART I, II で述べている。

上記の点については邦書にも記述されているが、邦書ではまだ出ていないのが PART III~V であり、ここが本書の目玉ともいうべきであろう。 すなわち、全球的な放射エネルギー・大気中の水物質および風系と大循環について Theory や Principle を簡潔にレビューし、リモートセンシングデータによるその応用を、多くの文献から画像・図・表を引用して要約しているのが PART II、IVである、PART V の「地域気候学における衛星データの解析」では、地球上のデータ過疎域が低緯度帯にあると見られる点から、また衛星による知見が低緯度の現象に対して多いことから、中緯度・高緯度帯に比して力点がおかれている。

最後の PART Ⅵでは、衛星データから気候区を分類 することへのアプローチを示している。

静止気象衛星が実用化されてからの研究は本書が出版されて以降になるので、引用は ATS によるものくらいである。気象衛星の開発と利用についてのもう1つの先進国であるソ連の衛星システムや研究成果については、極く僅かしか引用されてないので、改訂版を出すときには是非考慮してほしい点である。

衛星の画像に見られる気象現象を解説する

TECHNICAL NOTE No. 124 WMO

The use of satellite pictures in weather analysis and forecasting

ESSA TECHNICAL REPORT NESC 51

Application of Meteorological Satellite Data in Analysis and Forecasting

by Anderson, R.K., et al. March 1974

とは異なり、衛星データを使って放射収支、大気中の水物質の動態あるいはそれらの長期変動を研究しようとする気象・気候学徒には好適の入門書といえよう.

(山下 洋)